

東海大学医学部付属病院

臨床研修医・臨床助手

募集案内 2019

良医を育てる

TOKAI UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE

-RESIDENCY TRAINING-



良医を育てる

OUR POLICY

東海大学の創立者松前重義は、
医学部・付属病院の開設にあたり、
「ヒューマニズムと科学の調和をはかり、
新しい医療体制の確立をめざす」と宣言し、
同時に、人格豊かで幅広い視野とヒューマニズムに基づく
使命感を持った医師を育成すると共に、
「患者さんの精神的な支えとなり、
心あたまる人間性豊かな病院を建設する」と語りました。
このことは、変わることのない私たちの理念です。

写真左から 臨床研修医 義澤 航平、中島 理絵、安藤 翔太

MESSAGES

FROM RESIDENTS

東海大学医学部付属病院の
ここが魅力！



MESSAGE 02

研修医生活を手厚く支える メンター制度！

アメリカ内科学会で症例発表を行う機会をいただくなど、研修医の希望や相談に親身に向き合い、しっかりと応えてくれます。

臨床研修医 落合 成紀



MESSAGE 01

良医育成への熱い思いと 温かい眼差しを持つ指導医！

医療への真摯な姿勢は、研修医にとって理想の医師像。「良医を育てよう」という厳しくも温かい指導が、研修医の成長を後押ししてくれます。

臨床研修医 榊原 夢太郎



MESSAGE 03

広々としたレジデントルームは 学びと癒しの場！

研修医一人ひとりに机やロッカーが貸与されます。勉強できる「学びの場」であり、研修医同士で語り合い励まし合う「癒しの場」です。

臨床研修医 岡宮 稜子



MESSAGE 04

症例数や希少症例が多く、 実践的な幅広い学びができる！

若いうちに経験を積みたいと考える研修医に
最適の環境。指導医や上級医が多く、見守ら
れた現場で実践力を伸ばすことができます。

臨床研修医 小野 萌



MESSAGE 06

日本の医療を牽引する エキスパートが揃う！

国内トップクラスのエキスパートが各診療科に
揃っています。さらに、診療科を横断した研究
ができる垣根の低さも魅力です。

臨床助手 坂井 克彰

MESSAGE 05

コミュニケーションがとりやすく、 女性医師も働きやすい環境！

雰囲気が良く、先生方とのコミュニケーションが
とりやすいです。女性医師のキャリアプランに
も配慮され、仕事と子育ての両立ができます。

臨床助手 滝沢 志絵



CONTENTS

- 01 臨床研修ポリシー・メッセージ
- 03 「良医」を育てる5つの特長
- 05 臨床研修プログラム
- 09 地域医療研修レポート
- 11 診療科研修
- 13 後期研修(臨床助手1種・2種)
- 15 研修環境
- 16 支援体制
- 17 待遇
- 18 募集要項

5つの特長

POINT 01

40年余りの歴史と
研修実績を誇る
東海大学医学部付属病院。
研修プログラムはもちろん、
多様な支援や研修環境により
「良医」を育成します。

高度な臨床力が身につく 多様な研修プログラム

専門分野だけでなく、総合診療にも配慮した
画期的な4つの初期臨床研修プログラムがあります。

研修プログラム

大学病院での研修を中心とした
自由度の高いプログラム

大学病院で幅広い診療科を研修でき、数多くある地域の中核病院でも研修が可能です。選択期間も長く、豊富な研修科から選択できるため、自分に合った研修が行えます。

詳細は >>> P05-P06

地域医療研修プログラム

大学病院のほか、
市中病院で2〜3か月間の地域医療研修が可能

大学病院で幅広い研修を行いつつ、諏訪中央病院（長野）をはじめとする特色のある地域の市中病院で、2〜3か月の地域医療研修を行います。人気の高いプログラムです。

詳細は >>> P05-P06

周産期研修プログラム

6か月間のカンファレンス参加で
小児科・産婦人科をより深く学ぶ

小児科・産婦人科研修は1か月ですが、初期研修時に周辺領域を数多く研修し、幅広い視野から将来の志望科のカンファレンスに参加します。希望により大学病院と市中病院の両方で小児科・産婦人科研修が可能です。小児科医、産婦人科医を目指す方向けのプログラムです。

詳細は >>> P07-P08

地域医療重点研修プログラム

市中病院で6か月間の研修を行う
地域医療を重点としたプログラム

大船中央病院（神奈川）で6か月の研修を行います。大学病院にはない診療科の枠を越えた研修をじっくり実践でき、振り返りを重ねて医師としての思考や洞察力が身につきます。大学病院と市中病院両方の研修を行いたい方には最適のプログラムです。

詳細は >>> P07-P08

POINT 02

初期診療から実践的に学ぶ 地域医療研修

地域医療研修は、市中病院や診療所などの市民生活に最も身近な医療現場で研修を行います。当院は4つの付属病院をはじめ、神奈川県内の協力型病院・協力施設が充実。また、人気の諏訪中央病院（長野）、石巻赤十字病院（宮城）など、北海道から沖縄まで研修可能なプログラムもあります。初期診療・病診連携を実践することで、将来地域医療に貢献できる力を養います。

詳細は >>> P09-P10



東海大学医学部付属 東京病院



東海大学医学部付属 大磯病院



東海大学医学部付属 八王子病院

臨床研修病院群

付属病院 **4** 病院

協力型病院 **10** 病院

協力施設 **20** 施設

POINT 03

大学病院ならではの 幅広い診療科研修

総合内科研修や救命救急科研修など、大学病院では内科系から外科系まで幅広い診療科研修を行います。当院は1975年の開院当初から全国に先駆けて、スーパーローテーション方式の研修体制を採用。優れた指導医のもと、大学病院ならではの専門性と市中病院と同等のコモンディージーズの診療を学ぶことができます。

詳細は >>> P11-P12

研修診療科数

32 科



POINT 04

専門性を極める 後期研修 (臨床助手1種・2種)

当院の後期研修は、各診療科で高度専門的な臨床研修に従事し、専門性を高める「臨床助手1種」と、臨床研修を行いながら大学院に在籍し研究もできる「臨床助手2種」があります。2018年よりスタートした新専門医制度では、基本領域となる19科全ての研修が可能。サブスペシャリティ領域への研修継続もスムーズです。充実した指導体制で新制度に充分対応できる環境を整えています。

詳細は >>> P13-P14



POINT 05

充実した 支援・環境

全国の大学病院に先駆けて臨床研修医を対象としたメンター制度を実施し、研修上の悩み相談やキャリアアップに関する支援などに対応しています。また、院内保育所や幼稚園、育児のための短時間勤務制度など育児支援体制が充実しています。さらに学外から有名講師を招いて実施する研修医セミナー、研修医も入居可能な職員寮、病院棟に設置した研修医専用の部屋など、研修環境の整備も万全です。

詳細は >>> P15-P16

PROGRAM
01

東海大学臨床研修病院群

研修プログラム

募集定員 34 名

大学病院での研修を中心としたプログラムで、内科系から外科系まで幅広い診療科での研修ができます。
また、地域医療研修は医院・クリニック等で研修を、選択科目では地域の中核病院での研修が可能です。

■ 2年間のプログラム ※ローテーションは順不同

〈1年目〉

2か月	2か月	2か月	2か月	2か月	1か月	1か月
内科1〔総合内科〕	内科2〔選択1〕	内科2〔選択2〕	外科	麻酔科	小児科	産婦人科

〈2年目〉

2か月	1か月	2か月	2か月	2か月	1か月	1か月	1か月
救命救急科	地域医療	選択1	選択2	選択3	選択4	選択5	選択6

基本科目

- 内科1〔総合内科〕は、東海大学医学部付属病院総合内科で研修。
- 内科2〔選択1、2〕は、東海大学医学部付属病院の内科各科、東海大学医学部付属東京・大磯・八王子病院の内科、池上総合病院内科から選択し研修。
- 救命救急科は、東海大学医学部付属病院救命救急科で研修。
- 地域医療は、神奈川県伊勢原医師会内の診療所、山近記念総合病院（小田原市）、ありがとうみんなファミリークリニック平塚（平塚市）から選択し研修。

選択必修科目

- 外科は、東海大学医学部付属病院消化器外科で研修。
- 麻酔科は、東海大学医学部付属病院麻酔科で研修。
- 小児科、産婦人科は、東海大学医学部付属病院または付属八王子病院で研修。

選択科目

- 選択1、2、3は、東海大学医学部付属4病院の各科および伊勢原協同病院（内科各科・小児科）、海老名総合病院（総合診療科）、東名厚木病院（内科・外科・呼吸器科・整形外科・脳神経外科・救急部）、秦野赤十字病院（内科（一般）、外科（消化器）、小児科、整形外科）、平塚市民病院（消化器内科・一般外科）から選択し研修。
- 選択4、5、6は、東海大学医学部付属4病院の各科および伊勢原協同病院（小児科）、海老名総合病院（総合診療科）、秦野赤十字病院（内科（一般）、外科（消化器）、小児科、整形外科）、平塚市民病院（消化器内科・一般外科）から選択し研修。
- 東海大学医学部付属病院精神科を選択した場合は、2か月目の後半（1か月研修であれば月の後半）は愛光病院、または曽我病院にて研修。
- 選択1～6で同一の研修科を選択することも可能。

PROGRAM
02

東海大学臨床研修病院群

地域医療研修プログラム

募集定員 10 名

諏訪中央病院（長野）をはじめ、美瑛町立病院（北海道）、石巻赤十字病院（宮城）、大船中央病院（神奈川）、長崎県島原病院、東部クリニック（沖縄）で2～3か月研修を行う人気のプログラムです。

■ 2年間のプログラム ※ローテーションは順不同

〈1年目〉

2か月	2か月	2か月	2か月	2か月	1か月	1か月
内科1〔総合内科〕	内科2〔選択1〕	内科2〔選択2〕	外科	麻酔科	小児科	産婦人科

〈2年目〉

2か月	2か月	2か月	2か月	2か月	1か月	1か月
救命救急科	地域医療	選択1	選択2	選択3	選択4	選択5

基本科目

- 内科1〔総合内科〕は、東海大学医学部付属病院総合内科で研修。
- 内科2〔選択1、2〕は、東海大学医学部付属病院の内科各科、および東海大学医学部付属東京・大磯・八王子病院の内科、池上総合病院内科から選択し研修。
- 救命救急科は、東海大学医学部付属病院救命救急科で研修。
- 地域医療は、美瑛町立病院（北海道）、石巻赤十字病院（宮城）、大船中央病院（神奈川）、諏訪中央病院（長野）、長崎県島原病院、東部クリニック（沖縄）のいずれかで2か月間（但し、諏訪中央病院（長野）は3か月間とし、選択4の1か月を充当する）研修。

選択必修科目

- 外科は、東海大学医学部付属病院消化器外科で研修。
- 麻酔科は、東海大学医学部付属病院麻酔科で研修。
- 小児科、産婦人科は、東海大学医学部付属病院または付属八王子病院で研修。

選択科目

- 選択1、2、3は、東海大学医学部付属4病院の各科および東名厚木病院（内科・外科・呼吸器科・整形外科・脳神経外科・救急部）から選択し研修。
- 選択4、5は、東海大学医学部付属4病院の各科から選択し研修。
- 東海大学医学部付属病院精神科を選択した場合は、2か月目の後半（1か月研修であれば月の後半）は愛光病院、または曽我病院にて研修。
- 選択1～5で同一の研修科を選択することも可能。

地域医療研修については、P.09～10をご覧ください。

INTERVIEW

選択枠の多さが進路決定に役立つプログラム

研修プログラム 臨床研修医 榊原 夢太郎

本学医学部生だったときの臨床実習で、当院の先生方の医療への熱い姿勢を目の当たりにし、初期研修をするならここしかないと感じました。外科系に興味はありましたがどの診療科にするか絞り切れておらず、また一人前の医師になるには内科の知識やスキルも必要だと思い、外科を中心にしながらあらゆる診療科を選択できる基本のプログラムが良いと考えました。

脳神経外科を回っているとき、頭部打撲で救急搬送された患者さんに上級医がすぐさま開頭手術を決断したことがありました。研修医である私もサポートに入るなど、実際の緊迫した現場を経験でき、当院の研修の魅力を実感しました。何よりどのような状況下であっても人命を第一に考え、冷静な判断と迅速で的確な治療を行う上級医の姿に感銘を受け、脳神経外科に進路を決めるきっかけにもなりました。今後はできるだけ多くの患者さんが後遺症もなく歩いて退院できるよう、人の命を救える医師を目指します。自分の目標とする医師像に近づくための学びの環境があり、どの診療科にも親身に相談に乗ってくださる先生方がいること、それが当院の自慢です。



OFF TIME

— 榊原さんの休日 —



料理屋さん巡りでリフレッシュ

研修医生活の休日は、美味しい料理屋さん巡り。美味しいお酒と料理でリフレッシュし、仕事への活力としています。

INTERVIEW

市中病院と大学病院のメリットが最大限に吸収できる

地域医療研修プログラム 臨床研修医 落合 成紀

州立ハワイ大学マノア校を卒業後、医師への夢を叶えるために本学医学部へ編入学し、初期研修も当院に進みました。小児科志望でしたが市中病院の経験がなかったため、研修医が主治医となる研修スタイルで評判の諏訪中央病院で3か月間研修が行えるこのプログラムを選択しました。諏訪中央病院での研修は予想以上にハイレベルで、病院そして茅野という地域全体で医師を育てようとする恵まれた環境の中、貴重な経験を積むことができました。主治医として患者さんを担当し、入院から転院調整、退院後の在宅医療までのトータルケアに携わることで、自信と実践力がついたと思います。

自分の中で初期研修の2年間は、まずは一人前の医師として通用する知識や手技を身につけることが目標でした。そのため、当院の研修ではいずれかの科に偏らないように幅広く診療科を回りました。例えば、皮膚科では、あらゆる疾患の表現として初期に出てくる皮疹の診察方法を、泌尿器科では、幅広い年代で診られる腎泌尿器疾患の診察・治療方法を学びました。これからは小児科医としてまた一から勉強し、将来的にはI型糖尿病を診れるようになりたいと思っています。患者さんの人生に寄り添い、一緒に歩んでいきたいと考えています。



OFF TIME

— 落合さんの休日 —



美味しいコーヒーを探しに

コーヒーを愛してやまないのが、カフェ巡りが好きです。時間があるときは美味しいコーヒーを探しに行きます。

PROGRAM
03

東海大学臨床研修病院群

周産期研修プログラム

募集定員 **4** 名

小児科、産婦人科研修は各1か月ですが、選択科を研修しながら、将来志望する産婦人科・小児科のいずれかのカンファレンスに6か月継続して参加。幅広い視野から症例を学ぶことができます。

■ 2年間のプログラム ※ローテーションは順不同

〈1年目〉

2か月	2か月	2か月	1か月	1か月	2か月	2か月
内科1〔総合内科〕	内科2〔選択1〕	内科2〔選択2〕	小児科	産婦人科	麻酔科	救命救急科

〈2年目〉

1か月	2か月	2か月	1か月	2か月	2か月	1か月	1か月
地域医療※	選択1※	選択2※	選択3※	選択4	選択5	選択6	選択7

基本科目	選択必修科目	選択科目
■ 内科1（総合内科）は、東海大学医学部付属病院総合内科で研修。 ■ 内科2（選択1、2）は、東海大学医学部付属病院の内科各科、および東海大学医学部附属東京・大磯・八王子病院の内科、池上総合病院内科から選択し研修。 ■ 救命救急科は、東海大学医学部付属病院救命救急科で研修。 ■ 地域医療は、市川こどもクリニック（伊勢原市）、おおたしレディースクリニック（伊勢原市）、関野小児科内科クリニック（秦野市）、古閑医院（秦野市）、厚仁病院（香川県丸亀市）から選択し研修。希望により厚仁病院では2か月間の研修も可能。（その場合は選択3の1か月を充当）	■ 小児科、産婦人科、麻酔科は、東海大学医学部付属病院で研修。	■ 選択1、2、3、6、7は、東海大学医学部付属4病院の各科で研修。 ■ 選択4、5は、東海大学医学部付属4病院の各科、および東名厚木病院（内科・外科・呼吸器科・整形外科・脳神経外科・救急部）から選択し研修。 ■ 東海大学医学部付属病院精神科を選択した場合は、2か月目の後半（1か月研修であれば月の後半）は愛光病院、または曽我病院にて研修。 ■ 選択1～7で同一の研修科を選択することも可能。 ■ 本プログラムは「外科」を必修科目としていないが、研修終了に向けて外科症例の経験が必要とされるため、最低1科は外科系の研修科を選択することが望ましい。
■ 地域医療と選択1、2、3を研修中は、産婦人科・小児科のいずれか希望する科のカンファレンスに毎月1回参加する。（上表※の期間）		

PROGRAM
04

東海大学臨床研修病院群

地域医療重点研修プログラム

募集定員 **2** 名

大船中央病院（神奈川）で6か月間、地域医療を研修するプログラムで、大学病院にはない診療科の枠を超えた研修が可能です。選択期間も4プログラムの中で最も長く、幅広く希望科を研修できます。

■ 2年間のプログラム ※ローテーションは順不同

〈1年目〉

2か月	2か月	2か月	1か月	1か月	2か月	2か月
内科1〔総合内科〕	内科2〔選択1〕	麻酔科	小児科	産婦人科	救命救急科	内科2〔選択2〕 大船中央病院で研修

〈2年目〉

4か月	2か月	2か月	2か月	1か月	1か月
地域医療〔4科研修可〕 大船中央病院で研修	選択1	選択2	選択3	選択4	選択5

基本科目	選択必修科目	選択科目
■ 内科1（総合内科）は、東海大学医学部付属病院総合内科で研修。 ■ 内科2（選択1）は、東海大学医学部付属病院の内科各科で研修。 ■ 救命救急科は、東海大学医学部付属病院救命救急科で研修。	■ 麻酔科、小児科、産婦人科は、東海大学医学部付属病院で研修。	■ 選択1、2、3は、東海大学医学部付属4病院の各科および東名厚木病院（内科・外科・呼吸器科・整形外科・脳神経外科・救急部）から選択し研修。 ■ 選択4、5は、東海大学医学部付属病院の各科で研修。 ■ 東海大学医学部付属病院精神科を選択した場合は、2か月目の後半（1か月研修であれば月の後半）は愛光病院、または曽我病院にて研修。 ■ 選択1～5で同一の研修科を選択することも可能。 ■ 本プログラムは「外科」を必修科目としていないが、研修終了に向けて外科症例の経験が必要とされるため、最低1科は外科系の研修科を選択することが望ましい。
大船中央病院での研修 ■ 6か月間、地域に根ざした医療を学びます。2か月は内科2として内科を研修。残り4か月は選択科目として1か月を最小とし、最大4科まで各科を研修可能。同一の研修科を選択することも可能。		

INTERVIEW

選択の自由度が高いプログラムで理想の医師を目指す

周産期研修プログラム 臨床研修医 岡宮 稜子

産科や不妊治療に強い産婦人科医を目指し、周産期プログラムを選びました。このプログラムの特長は、選択できる診療科の自由度が高いことや、地域医療研修で小児科や産婦人科で知られる市中病院やクリニックを選択できることです。選択科目は、自分が目指す産婦人科の医師像に必要な知識とスキルを習得できる診療科を選び、地域医療研修先は不妊治療で有名な厚仁病院に決めました。また、選択科目の研修中も産婦人科のカンファレンスに月1回参加することになっており、複合的に学ぶことができます。

指導医や上級医の先生は、目が合えば「大丈夫?」と聞いて親身に教えてくれる方ばかり。出身大学や診療科が異なる先生同士が和気あいあいとしているのを見ると、垣根の低さは当院の伝統だと確信しています。初期研修先を選ぶ際、当初は東海大学出身のため外に出ようと北海道から長崎まで見学に行きました。結果として、どの診療科にも憧れる医師がいることや風通しの良さなど、当院の魅力に改めて気づき、こちらでの研修を決めた経緯があります。ぜひこの環境で、理想の医師像を目指して研修してください。



OFF TIME

— 岡宮さんの休日 —



先輩や同期との交流

この日は新大久保で韓国料理食べてからのカラオケ!先輩と同期と歌いまくりました(^.^)ストレス発散です!

INTERVIEW

市中病院での長期研修で養われる実践力と責任感

地域医療研修プログラム 臨床研修医 小野 萌

将来は出身地の神奈川県内で勤務し、主に外来診療に力を入れたいと考えています。地域医療重点研修プログラムを選んだのは、大学病院で3次救急の重症度の高い症例を学ぶとともに、6か月間にわたる市中病院で外来診療や地域医療を経験したいと思ったからです。

大船中央病院の先生方は身体診察を重視しています。大学病院と比べスタッフが少ない分、研修医も多くの実践を積むことができ、診察力がかなり身についたと思います。同時に、自分の見落としが患者さんの命を危険に晒す可能性があることに、医師としての責任感が強まりました。また、大船中央病院は高齢の患者さんが多く、病気を治すことを前提にしながらも患者さんの尊厳を尊重して積極的な治療を行わない場合もありました。「侵襲的な検査は患者さんの苦痛になることもあるから、検査が医師の自己満足になってはいけない」。上級医からいただいたこのアドバイスは、患者さんにとって何が大切かを考えるきっかけとなり、患者さんとの向き合い方も学ぶことができました。幅広く症例が学べて実践力もつくこのプログラムは、私の希望通りでとても満足しています。



OFF TIME

— 小野さんの休日 —



料理で気分転換

平日も料理をして気分転換をしています。休日はお菓子作りや時間のかかる料理も作ります。仕事はもちろんですが、家庭も努力し大事にしたいです。

地域医療研修レポート REGIONAL MEDICAL TRAINING REPORT



諏訪中央病院

臨床研修医 落合 成紀

1日の研修スケジュール (総合診療科)

SCHEDULE

7:30 朝回診 ↓ 病棟看護婦さんから前夜の様子を聞き取り、チームで患者さんを診て回ります。	11:45 昼カンファレンス ↓ 昼食を食べながらの勉強会。上級医を中心に皆で困った症例を検討します。
8:00 医局連絡会 / 総合診療科ミーティング ↓ 月曜は病院全体、火・木曜は総合診療科のミーティング。症例検討などの勉強会もあります。	13:00 病棟業務 ↓ 訪問診療に同行することも。病棟業務の合間はカルテ整理や症例検討の内容チェックなどを行います。
8:30 チームミーティング / 病棟業務 ↓ 患者さんの報告会後、新入院の方の病歴聴取や退院調整、診察、リハビリの様子を見に行きます。	18:00 チームミーティング ↓ 今日あった出来事、患者さんの様子を報告します。夜は研修医向けのセミナー開催も多く、勉強量は膨大。でも着実に力がつきます。

石巻赤十字病院

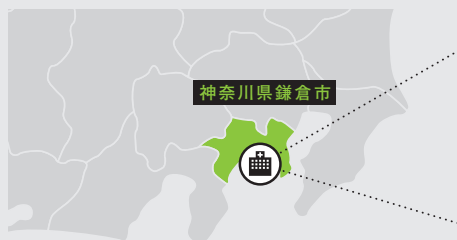
臨床研修医 阿部 凛



初診から転院先の決定まで、責任ある診療を学ぶ

医学部生の時に留学生の案内役として石巻から南三陸の被災地を回った経験があり、被災地の医療状況下で医師としての経験を積んでみたいと思い、石巻赤十字病院の救命救急科で研修を行いました。3次救急の救急車対応、救急外来のワークイン、入院患者さんの退院・転院までの病棟管理、女川医療センターで被災地での地域医療・島嶼医療を経験しました。病院全体が研修医を育てようという熱意にあふれており、指導医や上級医、周囲のスタッフのサポートを受けながらできた研修は、勉強になることばかりでした。全国から研修医が集まるため研修医たちのモチベーションも高く、週1回自主的に勉強会を開催しては希少な症例などを共有していました。切磋琢磨する環境の中で、地域医療、災害医療、救急医療をバランス良く学べる充実した研修期間でした。

大船中央病院



東海大学 臨床研修病院群

4つの付属病院と10の協力型病院、20の協力施設があります。

() 内は所在地 ※神奈川県を除く

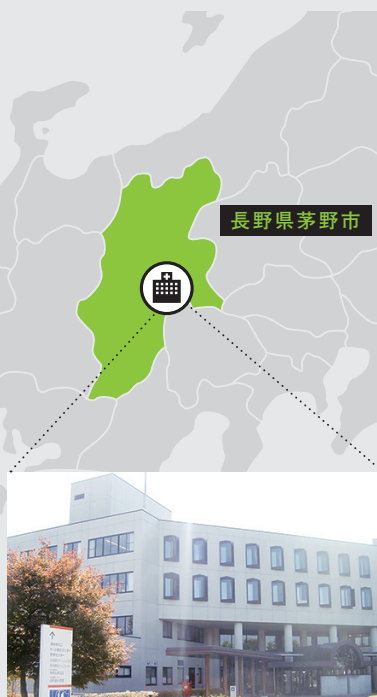
- 付属病院**
- 東海大学医学部付属病院 (本院)
 - 東海大学医学部付属東京病院 (東京)
 - 東海大学医学部付属大磯病院
 - 東海大学医学部付属八王子病院 (東京)

- 協力型病院**
- 石巻赤十字病院 (宮城)
 - 池上総合病院 (東京)
 - 東名厚木病院
 - 曽我病院
 - 海老名総合病院
 - 秦野赤十字病院
 - 愛光病院
 - 伊勢原協同病院
 - 平塚市民病院
 - 長崎県島原病院 (長崎)

退院後まで見据えた 地域医療の在り方を学ぶ

諏訪中央病院は地域医療を学びたい臨床研修医にとっても人気が高く、全国から研修医が集まります。研修医にも主治医としての役割が求められ、入院・治療方針の決定、患者さんへの病状説明も自ら行います。初めて主治医を務めることに不安もありましたが、高齢者への病状説明時は指導医から話すスピードや分かりやすい言葉遣いなどのきめ細かなアドバイスをいただくなど、指導医や上級医に支えられながら責任感を持って医師として診療に携われたと思います。ミーティングやカンファレンス、勉強会が多いのも特徴です。見学の医学部生や研修医が積極的に発言できる機会が大いにあり、限られた短い時間でいかに必要な情報を伝えられるか、プレゼンテーション力も向上しました。

諏訪中央病院は地域の基幹病院として、地域住民との親睦やかかりつけ医との連携を大切にしており、患者さんやご家族、かかりつけ医の先生方との距離が近いです。訪問診療にも力を入れ、同行時に退院後の生活を見ることができたことも貴重な経験です。患者さんの治療後の人生に影響を与える地域医療とは何かを考えた、濃密な研修期間でした。



病院から見る茅野市



お世話になったスタッフ＆「ちーぼ」君と
※茅野市子ども会育成連絡協議会マスコットキャラクター

臨床研修医 間邊 貴俊

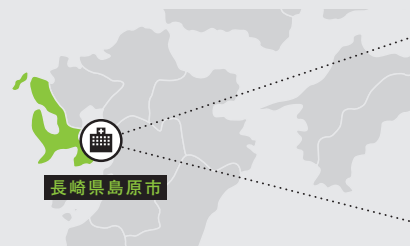
丁寧な身体所見から探る病、 改めて治療の第一歩を考える

大学病院では、3次救急で重症度の高い症例や急変対応の経験を積めるため、気負わずに対処できるようになりますが、一方で身体所見を細かく診ることが疎かになりがちです。大船中央病院ではどの診療科を回っても、研修医が必ず聴診して細かく身体所見を行い、治療の方針を立てます。病を抱える患者さんの体を丁寧に診るという治療の第一歩の大切さを改めて教わり、市中病院での研修の価値を痛感しました。2か月間の研修期間は慣れた頃に終わるので、もう少し長くてもいいかと思いましたが、実際に大学病院へ戻ってみると大学病院での学びを忘れることなく、市中病院の良い部分も活かすことができます。非常に充実したプログラムだと思いました。



長崎県島原病院

臨床研修医 杉山 悟



視野を広げる経験や学びを 地域医療の現場で実践する

将来は地域で開業することを考えているので、地域医療研修プログラムを選択しました。長崎県島原病院は「興味がある診療科を好きに回って良い」という柔軟な受け入れ体制で、内科領域を中心に毎日異なる診療科を回りました。手技についても意欲次第でどんどん経験させてもらえ、手厚いバックアップの下、呼吸器内科では週1回の気管支鏡、血液内科では週2回程度の骨髄穿刺というように、知識とスキルを一致させるのに苦労しながらも貴重な経験が積み重なりました。同時に「人に教えることにより、知識は定着する」という方針で看護師向けにレクチャーをする機会もあり、教えることの難しさを味わうなど、毎日の経験や学びが視野を広げてくれました。

協力
施設

■ 美瑛町立病院(北海道)
■ 大船中央病院
■ 山近記念総合病院
■ 諏訪中央病院(長野)
■ 厚仁病院(香川)

■ 東部クリニック(沖縄)
■ 伊勢原石田内科クリニック
■ 正山内科クリニック
■ 笹尾内科
■ 武田クリニック

■ 丸山クリニック
■ 市川こどもクリニック
■ 古閑医院
■ 平石整形外科
■ 新川クリニック

■ 上岡眼科医院
■ いいぬまクリニック
■ おおたレディースクリニック
■ 関野小児科内科クリニック
■ ありがとうみんなファミリークリニック平塚

総合内科研修

GENERAL INTERNAL MEDICINE



多角的に患者さんを捉える 基本的な能力を養う

大学病院の内科の多くは、臓器別の高度専門診療で一つの臓器、一つの疾病を深く掘り下げてきました。当院の総合内科は深く掘り下げるとともに、横方向に広く様々な分野から疾患を捉えて診療を行っている点が最大の特長です。研修では、大学病院ならではの高い専門性と幅広い総合診療能力を養うことを重視しています。コモンディーズから特殊な症例、重症例まで多種多様な診療にかかわりながら、広い視野を持ったジェネラリスト、スペシャリストの育成に努めています。

特色

01

総合内科ICU研修

2年間の研修中に選択でICUチームに回ることができます。敗血症、ショック、心不全、呼吸不全などの内科系重症疾患症例をICU専属指導医のもとで研修。呼吸器管理、循環器薬や重症感染症での抗菌薬の使用法、ベッドサイドの処置を習得、実践できます。

特色

02

充実のカンファレンス

週1回開催のプロブレムソルビング方式のカンファレンスでは、担当チームが提示した症例に他チームが病歴から捉える鑑別診断や検査方法を考え、指導医がショートレクチャーします。他にも多種のカンファレンスを開催し、問題解決力やプレゼンテーション力を養います。

特色

03

屋根瓦式研修

研修中は初期研修医1名に対して、講師以上の指導医2名、後期研修医1名の屋根瓦式の体制でサポートします。研修医の中にはモチベーションの高い人、不安に感じている人など様々ですが、一人ひとりの個性や技能に合わせて繰り返し指導し、実践をサポートします。



MESSAGE —医学生の皆さんへ—

臨床医として患者の全人的ケアをチームの中で実践するためには、病気を診るだけでなく患者さんの心理面、家族を含めた社会的背景にまで考えを及ぼすことができる医師であってほしいと思います。その基盤は、勉強や試験で計る医学的知識や手技だけでなく、視野の広さによって養われるものです。常に食欲に、様々なことに興味を持ち、多くの経験を力に変えようと意識してみてください。優れたジェネラリストへの成長につながるでしょう。

総合内科指導医 小澤 秀樹

救命救急科研修

EMERGENCY AND CRITICAL CARE MEDICINE



救命救急の第一線で 現場対応能力を身につける

当科は、国内有数の救急車受け入れ台数とドクターヘリの運用により、軽症から重症までの多様な症例数が多く、特に重症例の多さは他の医療施設より抜かんでいます。よく医学部生に「軽症ばかり診ていると、重症患者が搬送された時に動けない」と教えていますが、経験値の差が明確に現れる領域です。当科での研修は、重症例に対応できる実践力の育成を目的に、患者さんの命を守るうえで経験豊富なスタッフが研修医をバックアップしています。盤石の体制を整え、質の高い研修を実践しています。

特色

01

豊富な症例経験

症例数の多さと重症度の高さは初期研修に最適です。重症外傷、重度の熱傷のみならず、危険ドラッグを始めとする薬物中毒の診療は、分析機器の導入により国内トップクラスの診療実績を誇ります。豊富な症例を経験し、現場対応能力の高い人材を育成します。

特色

02

ドクターヘリの同乗研修

国の試行事業より始ったドクターヘリ運用では、国内の先駆けであり、歴史と実績があります。他のドクターヘリ基地病院では経験できない、研修医が指導医とともにヘリに同乗して現場での治療に参加するなど、実践力の育成を重視しています。

特色

03

潤沢なスタッフで 女性も活躍

いつも全力で患者さんに向き合うには、高いモチベーションの維持が大切です。当科はマンパワーが充実しているため、当直後はしっかりと休むことができます。また、半数が女性スタッフです。育児と仕事を両立させているお母さんドクターもたくさん活躍しています。



MESSAGE — 医学生の皆さんへ —

救命救急科での実践力について、バーベルを挙げる勝負に例えて説明します。バーベルの重さを患者さんの重症度とし、練習する重さが100キロと30キロの選手とでは、50キロの重さで勝負する場合、常に100キロを挙げていた選手が勝利します。実践していない力を緊急時に発揮するのは難しく、常日頃から「症例数と重症度の高い症例を数多く経験する」ことが重要です。優れた指導陣が揃う当科で経験を積み、高い能力を持つ医師を目指しましょう。

救命救急科指導医 中川 儀英

後 期 研 修

(臨 床 助 手 1 種 ・ 2 種)

初期臨床研修からプロフェッショナルの道へ

新専門医制度について

基本的な診療能力を習得すると共に研修に専念できる環境を整備することを目的として医療法が改正され、2004年度から医師免許取得後2年間の臨床研修が必修化されました。また、これまで各学会が独自に認定してきた「専門医」を国民の視点に立った基準で育成・認定する目的から日本専門医機構が設立され、2018年度から「新専門医制度」が開始されました。この新専門医制度で専門医を目指す医師を「専攻医」と呼び、内科・外科・産婦人科・小児科等基本的な18診療科と新たに加わった総合診療の19科のいずれかの専門研修プログラムに登録し、3～5年間の実践研修を行うことになります。基本領域専門医を取得後にサブスペシャリティ領域専門医取得を目指す二階建て部分の研修プログラムについては、現在構築が進められています。

初期研修先を検討する場合、修了後に同一施設で引き続き専門研修が可能か否か、初期研修時の経験症例を専門研修の経験症例に含めることが可能か等、専門研修先までを考慮することも肝要と思われます。

医師は生涯にわたり、自己の知識を広げ、技能を磨き、常に研鑽する責務を負っています。プロフェッショナルな道を歩むための第一歩としての専攻医登録に対しては、きちんとしたキャリアプランを立て、先輩たちの知恵や助言を十分に活用して行くことを望みます。

INTERVIEW

女性医師のロールモデルを目指し、育児と仕事を両立

臨床助手1種

救命救急科 滝沢 志絵

医師を目指したきっかけは、即断即決する救命救急医の姿への憧れでした。救急医療で最先端をいく当院の救命救急科を目標に、東海大学医学部に進学。その後も救急医療を究めようと、初期研修・後期研修ともに当院を選びました。後期研修先の決め手は、指導医や上級医の熱心な指導でした。卒後6年目になると自分で考えて行動しなければなりませんし、初期研修の頃よりも責任が伴います。しかし、上級医に教わりながら実践できる様々な場があることで、自分の成長をより実感することができます。医学部生や初期研修医へ指導する機会も増え、分かりやすい説明やアドバイスを心がけていますが、何よりも知識やスキルをアウトプットすることは、自分自身を改めて見つめ直すことにつながり、勉強にもなっています。結婚、出産、育児を経て現場に復帰し、以前に増して仕事への意欲が高まると同時に、周囲の深い理解やサポートに心から感謝しています。仕事と子育てを両立させ、後に続く女性医師のロールモデルになれるよう励んでいます。



OFF TIME

— 滝沢さんの休日 —



家族との時間を大切に

お休みの日は娘とたくさん遊びます！この日は家族でいちご狩りに行きました。次のお休みは遊園地に行きます♪

3 当院では後期研修医を臨床助手と呼び、それぞれの道で専門性を高めます。

後期研修

各診療科で研修を行い、それぞれの領域の専門医取得を目指します。
専門分野にとらわれず、診療科を越えた幅広い研修が可能です。

初期臨床研修
(2年)

基本領域専門医取得のための研修 (3年以上)

基本領域

内科／総合診療／外科／脳神経外科／整形外科／形成外科／泌尿器科／麻酔科／救急科／小児科／産婦人科／精神科／皮膚科／耳鼻咽喉科／眼科／リハビリテーション科／放射線科／病理／臨床検査

サブスペシャリティ領域専門医取得のための研修 (3年以上)

サブスペシャリティ領域※

循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／血液腫瘍内科／神経内科／腎内分泌代謝内科／リウマチ内科／心臓血管外科／移植外科／消化器外科／呼吸器外科／小児外科／乳腺内分泌外科／画像診断科／放射線治療科

※ サブスペシャリティ各プログラムは、現在当院で単一研修プログラムを有する独立診療科を掲載していますが、基本診療科の中にも複数あります。

臨床助手1種

各診療科において高度専門的な臨床研修に従事し、その道のプロフェッショナルを目指します。それぞれの領域の専門医を早期に取得できるプログラムとなっています。

臨床助手2種

臨床研修を行いつつ、東海大学大学院医学研究科に在籍し、学位取得も目指します。昼夜開講やweb教材の利用により、病院勤務と大学院の両立が可能です。

INTERVIEW

臨床力と研究力を磨き伸ばせるコース

臨床助手2種

循環器内科 坂井 克彰

初期研修は九州の病院で行いましたが、カテーテル治療において日本トップクラスを誇る当院の循環器内科で先端医療を学びたいと思い、卒後3年目の後期研修から当院の臨床助手となり、現在7年目です。臨床助手2種は、臨床力を落とさずに大学院で臨床研究が行え、博士号を取得できる点が魅力です。臨床と研究を並行して行うことは大変な時間と労力を要しますが、診療科の先輩医師の協力が厚く、周囲に支えられていることを実感しています。医療の知識とスキルに加えて人格も優れたロールモデルが揃っていることは、当院の「良医育成」を目指す志の高さの表れだと思います。

現在は『冠動脈のプラークと血糖変動の関係について』をテーマに、腎臓内科や神経内科の医師と新しい分野での共同研究を行っています。単科での研究には限界があり診療科を越えた研究が求められる今、診療科の垣根が低く横の連携も強い当院だから取り組むことができるのです。新たな分野で先駆けとなれるよう、またロールモデルの一員になれるよう、当院で臨床と研究に邁進していきたいと考えています。



OFF TIME

— 坂井さんの休日 —



スポーツで他大学との交流も
半年に一度、神奈川県内の4大学でフットサルをしています。終わった後の飲み会でも他大学と交流ができ、休日にも充実しています!!

研修環境

TRAINING ENVIRONMENT

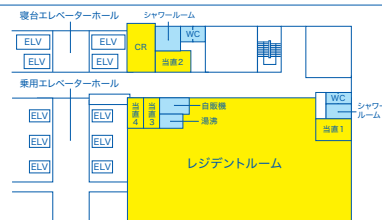
レジデントルーム



病院棟5階に研修医専用の部屋があり、研修医一人ひとりに机、椅子、キャビネット、ロッカー2つ、メールボックスが貸与されます。室内は病院用端末とインターネット利用可能なPC（無線LAN使用可）を配置しており、検査オーダーやサマリーの作成も行うことができます。

外来・病棟へのアクセスも便利！

レジデントルーム内に当直室、シャワー室を完備しています。外来・病棟へのアクセスも良く、快適に研修に臨めます。



スキルクリニック



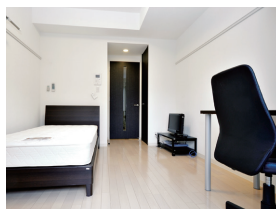
様々な臨床技能訓練が可能なスキルクリニックを完備しています。採用時オリエンテーションでは、心肺蘇生講習や手技訓練を実施。救命救急科をはじめ各診療科で研修時には、活発に利用されています。

図書館



医学関連の刊行物を中心に、図書・雑誌・視聴覚資料が揃っています。また、電子ジャーナルや電子ブックも充実し、病院の外からでもオンラインで閲覧することができます。

伊勢原職員寮



築6年の充実した設備の職員寮です。日中は管理人が常駐し、夜間は警備会社と接続しているため、女性にも安心です。研修医に人気なのは宅配ロッカー。敷地内にごみ集配倉庫もあり、便利です。家賃は月額35,000円。

主な設備

- オートロックシステム(1階エントランス)
- 宅配ロッカー
- 脱衣場付きバスルーム
- IHクッキングヒーター
- 高速インターネットサービス
- オール電化給湯システム
- 脱臭機能付きウォシュレット

など

支援体制

SUPPORT SYSTEMS

メンター制度

大学病院では先駆けて、2010年度からメンター制度を導入しています。臨床経験豊富な教員（医師）が、研修医のキャリアアップに関する支援、研修に対する姿勢や考え方、研修の楽しさを教えたり、研修上の悩み相談などに対応していくシステムです。大学病院というスケールメリットを享受しつつ、市中病院のようなきめ細かい研修が可能です。毎年、指導医を対象にメンター講習会を開催。質の高い支援を維持できるように努めています。臨床研修医採用時オリエンテーションで、研修医にメンター候補者を紹介し、懇親をはかる懇談会を実施。研修医の希望に沿ってメンターを決定しています。

※6・7月の初回面談会後、2回目以降の面談は個々に実施。双方から申し出がない限り、研修終了時までペアを継続する。

メンター候補者 **113** 名

2018年度メンター **51** 名

2018年度メンティー **74** 名



メンティーに聞きました！



VOICE!

臨床経験豊富な先生方に担当していただき、自分が進む診療科に迷ったときや、研修プログラムの組み方などを親身に対応してもらえます。また、私生活についても気軽に相談ができ、心の支えとなっています。（メンティー 三島 祐介）

Q. メンターに相談することは？

- A. 1位 進路
2位 専門科の選択
3位 上級医とのコミュニケーションのとり方

Q. メンターの存在は？

- A. ■ 話しやすい何でも相談できる先輩医師
■ 他大出身なので、心強かった
■ 自分の研修をより高いレベルにしてくれる人
■ メンタル面で支えになった など
(メンター制度アンケート集計結果より)

育児支援体制

院内保育所ひまわり

- 保育時間
7:00~22:00
対象 3歳児の年度末まで
- 保育料
保育時間に応じた料金
(給食費別途)



認定こども園 東海大学附属本田記念幼稚園

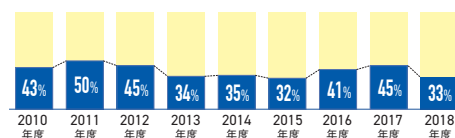
3歳児以上は、隣接する東海大学附属本田記念幼稚園に入園可能。一定の条件を満たした場合、学費等の給付制度の適用があります。



育児のための短時間勤務制度

子育て中の医師が働きやすい勤務体系を導入しています。9歳までの子どもを養育する場合、原則3年間まで、週20時間(給与50%支給)、週28時間(給与70%支給)、週30時間(給与75%支給)いずれかの勤務申請が可能です。

女性研修医の割合



産休取得者の研修修了状況 2010年度~2017年度

休暇取得者 **10** 名 修了者 **8** 名
中断1名(転居)、未修了1名(産休中)

育休取得者の研修修了状況 2010年度~2017年度

休暇取得者 **7** 名 修了者 **6** 名

直系子女に対する学費給付制度

一定の条件を満たした場合、本学園内の教育機関に入学する際の入学金等の給付が受けられます。



VOICE!

院内保育所を利用しています。何かあった時もすぐに駆け付けられる安心感があり、勤務に専念できて大満足です。子育てと仕事を両立させる女性医師のロールモデルを目指します。（臨床助手1種 滝沢 志絵）

待遇

TREATMENT

給与

1) 臨床研修医

月額: 315,000円(宿日直手当4回分含む) 諸手当: 通勤手当、宿日直手当

2) 後期研修医(臨床助手)

1種

- 臨床助手1年 月額430,000円
- 臨床助手2年 月額466,000円
- 臨床助手3年 月額502,000円

2種

- 臨床助手1年 月額301,000円
- 臨床助手2年 月額326,200円
- 臨床助手3年 月額351,400円
- 臨床助手4年 月額353,500円

諸手当: 通勤手当、宿日直手当



休暇

年次有給休暇(1年目11日、2年目12日、3年目13日、4年目以降20日)、結婚休暇(7日以内)、産前産後休暇、忌引休暇、夏期休暇(臨床研修医6日、臨床助手1年目6日、2年目10日、3年目11日)など ※2018年度実績

福利厚生

日本私立学校振興・共済事業団加入、労災保険加入、雇用保険加入、職員寮有、白衣無償貸与、クリーニング券配布



よくある質問 Q&A

Q. 東海大学以外の出身者はどのくらいいますか？

A. 毎年5～6名が他大学出身です。2018年度は10名が他大学出身者でした。すぐにとけこめるのは当院の良いところ。出身大学の区別なく、指導医は皆に熱心に指導してくれますので、どうぞご安心ください。

Q. 研修のローテーションはどのように決定しますか？

A. 入職前に、研修先と研修時期の希望調査を行い、1年次の研修計画を決定しています。将来の志望科決定に向け、1年次から希望科を研修できます。

Q. 研修途中でも選択科は変更できますか？

A. 選択科の変更は2か月前の10日までに申請すれば変更可能です。将来を見据えて、柔軟に研修科を変更できるようなシステムです。選択期間も長く、それぞれの希望に叶った研修が受けられます。

Q. 1年目でも当直研修はありますか？当直回数は？

A. 1年目の5月から当直研修がスタートします。当直回数は平均で3回程度。月に宿直4回、日直1回を超えないように研修管理委員会で毎月確認しています。

Q. 地域医療研修先の決定方法を教えてください。

A. 入職前に、地域医療研修先の希望調査を行います。第1希望で研修できるようできるだけ研修先と調整を行います。中には稀に第2希望となる場合もあります。

Q. 女性は働きやすいですか？

A. 女性支援は充実しています。院内保育所や幼稚園も隣接しており、産休・育休を取得した後、復帰して短時間勤務をしながら育児をする女性医師も数多くいます(P16参照)。

募集要項

APPLICATION REQUIREMENTS

2019年4月採用者 試験日程

臨床研修医(医師)採用試験

- 応募資格 第113回医師国家試験受験予定者
- 応募書類 次の書類を郵送(書留)もしくは持参してください。
 - (1) 応募申請書 本学所定用紙 1通
 - (2) 履歴書 本学所定用紙 1通(顔写真添付)
 - (3) 卒業証明書 1通[既卒者のみ必要]
 - (4) 成績証明書 1通
 - (5) 健康診断書 各大学で発行する健康診断書または本学所定用紙(2018年度受診のものに限ります。本学所定用紙を用いる場合は第三者医療機関で受診してください)
- ※(1)(2)(5)の本学所定用紙は臨床研修部ホームページからダウンロード可能です。
- 選考方法 厚生労働省によるマッチング方式で実施。以下の(1)～(3)の試験を実施する。
 - (1) 面接 (2) 小論文 (3) 専門学力試験[筆記試験]
- ※2018年度東海大学卒業見込者は(1)のみで選考

	試験日	対象	応募締切日
第1回	2018年7月20日(金)午後	2018年度東海大学卒業見込み者	2018年7月 7日(土)必着
第2回	2018年7月21日(土)午前		
第3回	2018年7月24日(火)午後		
第4回	2018年7月25日(水)午前		
第5回	2018年7月25日(水)午後		
第6回	2018年7月31日(火)午後		
第7回	2018年8月 4日(土)午後	東海大学以外の学生・既卒者・東海大学医学部付属八王子病院研修プログラム第1希望者 ※2018年度東海大学卒業見込み者も受験可能	2018年7月23日(月)必着
第8回	2018年8月18日(土)午前		2018年8月 6日(月)必着

臨床助手1種・2種採用試験

- 募集人数 日本専門医機構で決定するプログラム募集定員(参考:2018年度は114名)
- 応募資格 日本国の医師免許証または歯科医師免許証を有し、厚生労働省の指導に基づく臨床研修の修了(見込)者。
歯科医師については、原則として2年間の臨床研修修了者。
- ※臨床助手1種・2種採用試験の詳細は、決定後にホームページでお知らせします。臨床研修部ホームページでご確認ください。

試験会場	東海大学医学部付属病院
応募書類提出先・問い合わせ先	東海大学医学部付属病院 臨床研修部 〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143 TEL: 0463 (93) 1121 (内線4035)
E-mail	kenshuu@tokai-u.jp
ホームページ	http://www.fuzoku-hosp.tokai.ac.jp/rinsho/

※年度内採用者は随時募集しています。

採用データ

採用者の出身大学 他

臨床研修医の出身大学

(人数は医科全プログラムの合計)

出身	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
東海大学	36	25	32	34	36	37
国公立	3	0	2	2	0	1
私立	2	5	4	1	6	9

主な大学名

(順不同)

国公立	北海道大学・旭川医科大学・弘前大学・東北大学・横浜市立大学・山梨大学・信州大学・岡山大学・鳥取大学・島根大学・愛媛大学・高知大学・大分大学・宮崎大学・鹿児島大学・琉球大学 など
私立	岩手医科大学・獨協医科大学・埼玉医科大学・東京女子医科大学・日本大学・東邦大学・北里大学・昭和大学・聖マリアンナ医科大学・金沢医科大学・愛知医科大学・藤田保健衛生大学・川崎医科大学・福岡大学・久留米大学 など

病院見学

当院では随時、病院見学(医学生および既卒者対象)を受け付けています。

- 希望する診療科の見学
各科のカンファレンス、回診などの見学が可能です。
1日で複数の科を見学することもできます。
- 東海大学臨床研修病院群 研修プログラムの説明
当院の概要および臨床研修プログラムの概要説明、質疑応答を行います。

申込方法 メールでのお申込み: kenshuu@tokai-u.jp

見学を希望される場合は、日程の調整等を行う関係上、なるべく見学日の14日前までに必要事項をご記入の上、Emailでお申込みください。

病院概要

総合内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／血液腫瘍内科
／リウマチ内科／神経内科／腎内分泌代謝内科／東洋医学科／心
臓血管外科／移植外科／呼吸器外科／消化器外科／乳腺内分泌外
科／小児外科／脳神経外科／泌尿器科／麻酔科／救命救急科／精
神科／小児科／産科／婦人科／皮膚科／眼科／耳鼻咽喉科／形成
外科／整形外科／放射線治療科／歯科／歯科口腔外科／リハビリ
テーション科／遺伝子診療科／画像診断科／臨床検査科／病理診
断科／緩和ケア科／細胞移植再生医療科

病床数 …… 804床

受付時間 …… 午前8時～11時

休診日 …… 日曜日、祝日、第2・4土曜日、11月1日(建学記念日)、
12月29日～1月3日(年末年始)

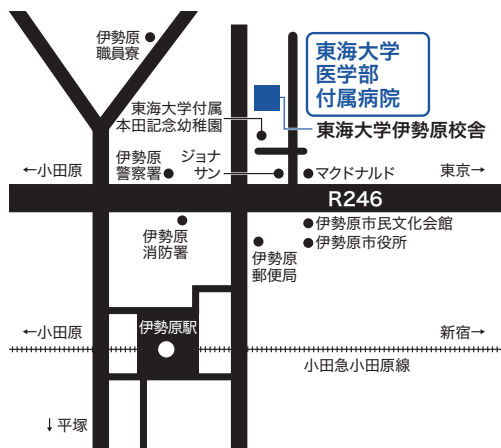
1日平均外来患者数 …… 2,454人

1日平均入院患者数 …… 778人

救急車取扱件数 …… 6,286件

ドクターヘリ出動回数 …… 213回

交通案内



■ 電車・バスの場合

- ◎小田急線(新宿より快速急行60分、小田原より約30分)
「伊勢原」駅下車、バス約10分
- ◎北口2番のりばより「東海大学病院経由愛甲石田行き」バス
「東海大学病院」下車
- ◎南口4番のりばより「東海大学病院行き」バス 終点下車

■ 車の場合

- ◎東京・静岡方面より
東名高速「厚木IC」より国道246経由にて約20分
- ◎小田原方面より
小田原厚木道路「伊勢原IC」より約15分

問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 臨床研修部

〒259-1193

神奈川県伊勢原市下糟屋143

Tel: 0463-93-1121(内線4035)

E-mail: kenshuu@tokai-u.jp

HP: <http://www.fuzoku-hosp.tokai.ac.jp/rinsho/>

